

取組事例 地域資源カーリングを活用した知名度向上と交流人口拡大

(北見市)

北見市では、地域資源であるカーリングを活用し、知名度向上と長期滞在型の合宿誘致等による交流人口拡大を図り、地域全体の「稼ぐ力」を高め、地域経済への経済波及効果を雇用創出につなげることを目指している。

関連数値目標・KPI

| | 基準値 (H30) | 実績 (R2) | 目標値 (R6) | 進捗 |
|----------------------|--------------|------------|-------------|-------------|
| 年間200万円を超える給与収入者数(人) | 35,910 | 36,300 | 基準値以上 | 目標に対し、順調に推移 |

取組の推進体制

北見市、北見カーリング協会、北見工業大学、市内関係団体など、広く産学官等が連携し、取組を効果的に推進

アルゴグラフィックス北見カーリングホールの年間利用者数の状況



新たに整備した市内2つ目のカーリングホールの利用者も大幅な増加傾向にある

取組事例 交流人口拡大を雇用創出につなげる

地域資源カーリングを活用した知名度向上と交流人口拡大のための拠点整備プロジェクト

令和2年10月に、地元大学の最先端スポーツ科学研究を実用化した高度な競技力向上支援機能を有する先導的な施設「アルゴグラフィックス北見カーリングホール」がオープン

○主な取組

北見カーリングホールを活用し、合宿誘致や体験型観光、オリンピックで銀メダルを獲得した女子チーム「ロコ・ソラーレ」の後進となる人材の育成、国内外大会の開催、小中学校の授業での活用など、カーリングの持続的発展と地域の活性化に向けて様々な取組を展開。

○主な成果

コロナ禍におけるオープンにも関わらず、本施設の年間利用者数や道外を含むカーリングトップアスリート等の合宿誘致数は順調に推移し、宿泊業や飲食サービス業など合宿関連産業への幅広い経済波及効果をもたらしている。

カーリングを活用したスポーツ・健康まちづくりの取組として、スポーツ庁長官から「スポまち！長官表彰2021」を受賞
(令和3年12月)



アルゴグラフィックス北見カーリングホール



最先端の競技力向上支援システム



北海道 北見市